

笑顔かがやく松浦っ子！



令和2年9月24日

NO.14 松浦小学校

校長 野中皇児



このQRコードを読み取っていただくと、松浦小学校HPにいきます。

イベントギャラリーにて、学校や子どもたちのことを随時紹介していきます。

20日（日）は、雨の心配もなく、熱中症の心配もない素晴らしい天気の中、運動会を実施することができました。来賓や祖父母の方々がいらっしゃらない、少し寂しい感じではありましたが、子どもたちは一生懸命にがんばりました。

本校では、徒競走やリレーなどはせずに、必要最小限のリスク回避をしながら、運動会で一番大切なねらいを達成すべく、種目等を考えました。運動会で一番大切なこと、それは「みんなでつくりあげる」ことだと考えます。団体演技や団体競技は、もしかしたら、走るだけの徒競走やリレーに比べ、感染のリスクは高くなるのかもしれませんが、これらの競技の練習や本番を通しての子どもの成長というものを優先しました。

また、松浦小の子どもたちは、応援席での態度、時間前にきちんと集合することなど、完璧でした。保護者の皆様、応援ありがとうございました。



5, 6年生の団体競技『竹取物語（棒引き）』です。最初にどの棒を狙うか、どこに助けに行くかなど、棒を引く力だけではなく、頭の回転を要求されます。そして最後には、「絶対に自分の陣地に持っていくんだ」というあきらめない心が大切です。さて結果は？

1, 2年生の団体競技『大玉ころりん』です。3～4人ずつのチームが、1つの大きな玉を一生懸命に転がしていきます。幸い、転ぶ子どももいませんでした。また、大玉が大きくはみ出すこともありませんでした。さて結果は？



本部テントに掲示してあった、子どもたちのイラスト入りの『旗』です。国旗と比べ、とても可愛らしく、また当日を盛り上げてくれる素晴らしいアイテムです。こういう準備をしていただいた子どもたちや職員に感謝したいと思います。